

JIS

日本語文書の組版指定交換形式

JIS X 4052 : 2000

(2005 確認)

平成 12 年 10 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が制定した日本工業規格である。

JIS X 4052 には、次に示す附属書がある。

附属書 1 (規定) 仮名文字クラスの文字種

附属書 2 (規定) 圏点クラスの文字種

附属書 3 (規定) 欧文用文字クラスの文字種

附属書 4 (規定) 連数字クラスの文字種

附属書 5 (参考) 本文用及び見出し用の generic-family 明朝体・角ゴシック体の書体例

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：平成 12. 10. 20

官 報 公 示：平成 12. 10. 20

原案作成協力者：財団法人 日本規格協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 情報部会（部会長 棟上 昭男）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部標準業務課 [〒100-8921 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1 TEL 03-3501-1511 (代表)] にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1. 適用範囲	1
2. 引用規格及び関連規格	1
2.1 引用規格	1
2.2 関連規格	1
3. 定義	2
3.1 JIS X 4051 : 1995 で定義済みの用語	2
3.2 用語の定義	2
4. 組版指定対象の種類と組版指定の優先順序	4
4.1 組版指定対象の種類	4
4.2 class 属性と id 属性の指定	4
4.3 要素間の包含関係	4
4.4 組版指定の継承と優先順序	5
5. 組版指定記述形式	6
5.1 組版指定形式	6
5.2 組版指定付き文書ファイルの構成	6
5.3 値の指定	7
5.4 タグ付け方式による指定	8
5.5 特殊記号の組合せによる指定	14
5.6 要素名と記号と規則名との対応	15
6. 組版指定項目と指定方法	17
6.1 組方向に関する指定	17
6.2 文字に関する指定	18
6.3 ページと版面に関する指定	22
6.4 改ページ・改段の指定	29
6.5 見出しの指定	30
6.6 表の指定	32
6.7 図・写真等の領域の指定	35
6.8 簡条書きの指定	40
6.9 段落整形及び行間の指定	40
6.10 そろえの指定	42
6.11 タブ処理の指定	43
6.12 ルビの指定	44
6.13 添え字の指定	47
6.14 圏点の指定	47
6.15 下線・傍線・抹消線の指定	48
6.16 割注の指定	48

	ページ
6.17 縦中横の指定	49
6.18 欧文用文字を縦書き中で和字扱いとする指定	50
7. 適合性.....	50
7.1 交換用ファイルの適合性	50
7.2 交換用ファイル作成システムの適合性	50
7.3 交換用ファイル処理システムの適合性	50
7.4 組版指定の既定値	50
7.5 処理系定義項目	50
附属書 1 (規定) 仮名文字クラスの文字種	51
附属書 2 (規定) 圏点クラスの文字種	55
附属書 3 (規定) 欧文用文字クラスの文字種	56
附属書 4 (規定) 連数字クラスの文字種	59
附属書 5 (参考) 本文用及び見出し用の generic-family 明朝体・角ゴシック体の書体例	60
解説.....	65

日本語文書の組版指定交換形式

X 4052 : 2000

Exchange format for Japanese documents with composition markup

1. 適用範囲 この規格は、組版指定付き日本語文書の交換形式を規定する。

この規格は、次の組版指定について規定する。

a) JIS X 4051 (日本語文書の行組版方法) に規定する行組版処理に関わるすべての組版指定。

b) この規格に規定する一般的な書籍のページ組版方法に関わる組版指定。

この規格では、タグ付けによる組版指定方式と特殊記号による組版指定方式との二つの組版指定方式を規定する。

この規格においては組版の指定のためにタグを使用しているもので、論理的関係を示すためにタグを使用するものではない。

備考1. この規格は一般的な書籍や学術論文集の組版指定の交換を対象とするが、それ以外の組版指定の交換にこの規格が規定する組版指定記述形式を利用することを妨げるものではない。

2. 辞典、雑誌、週刊誌等で一般的な書籍と異なる組版処理がなされる部分については、この規格の対象外とする。

3. この規格は、文書の作成、編集、出力の過程で文書の体裁に関する情報交換を可能にするための規定であるが、文書の作成方法や作成意図を制約するものではない。また、出版過程における執筆者、編集者などの役割を制約するものではない。

4. この規格で想定する出力媒体としては、紙の印刷物だけではなく、電子的な出版物及びオンラインでのブラウジングを含む。

2. 引用規格及び関連規格

2.1 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版(追補を含む。)を適用する。

JIS P 0138 紙加工仕上寸法

JIS X 0201 7ビット及び8ビットの情報交換用符号化文字集合

JIS X 0208 7ビット及び8ビットの2バイト情報交換用符号化漢字集合

JIS X 0213 7ビット及び8ビットの2バイト情報交換用符号化拡張漢字集合

JIS X 0221 国際符号化文字集合(UCS)―第1部 体系及び基本多言語面

JIS X 4051 日本語文書の行組版方法

JIS Z 8305 活字の基準寸法

2.2 関連規格 この規格の関連規格を、次に示す。

HTML 2.0 : Hypertext Markup Language - 2.0

RFC 1866 (November 1995)

Authors : T. Berners-Lee, D. Connolly

HTML 3.2 : HTML 3.2

—W3C Recommendation 14-Jan-1997 <<http://www.w3.org/TR/REC-html32.html>>